

戦略的イノベーション創造プログラム (SIP)
次世代海洋資源調査技術 (海のジパング計画)
「海のジパングを目指して～海洋資源調査産業の創出に向けた新たな展開～」
シンポジウム 開催報告

1. 日時

平成 27 年 1 月 23 日 (金) 13:00～17:15

2. 会場

ヤクルトホール

(東京都港区東新橋 1-1-19 ヤクルト本社ビル)

3. 実施体制

- －主催 : 内閣府、(独) 海洋研究開発機構
- －後援 : 総合海洋政策本部、総務省、文部科学省、経済産業省、
国土交通省、環境省、(独) 情報通信研究機構、
(独) 産業技術総合研究所、(独) 海上技術安全研究所、
(独) 港湾空港技術研究所、(独) 国立環境研究所

4. 開催概要

本シンポジウムは、平成 26 年度より開始した戦略的イノベーション創造プログラム (SIP) 次世代海洋資源調査技術 (海のジパング計画) 事業を広く一般に紹介することを目的として開催した。当日は、約 450 名の方々に参加頂いた。

研究実施項目の報告では、サブテーマ毎に、関係する機関の研究代表者が共に研究活動を報告した。

パネルディスカッションでは、海洋資源調査等についての現状認識、課題や今後への期待について、本事業の実施側及び関連する民間企業の有識者らが議論を行った。パネルディスカッションでは、産業化やグローバルスタンダード化にあたっての課題や期待 (技術的なブレークスルーの必要性や、高品位な鉦床の発見、産業化に向けた研究実施側や産業界の取組等) について意見があった。

5. プログラム

時間	内容	講演者
12:30	開場・受付開始	
13:00 ~ 13:05	開会挨拶： 次世代海洋資源調査技術への期待	久間 和生 (総合科学技術・イノベーション 会議 有識者議員)
13:05 ~ 13:15	戦略的イノベーション創造 プログラム(SIP)の取組み	山岸 秀之 (内閣府 大臣官房審議官(科学 技術・イノベーション担当))
13:15 ~ 13:35	次世代海洋資源調査技術の 目標・全体概要	浦辺 徹郎 (次世代海洋資源調査技術 プログラムディレクター)
13:35 ~ 13:55	実施項目1：海洋資源の成因に関する科学的研究	
		鈴木 勝彦 (独)海洋研究開発機構) 山崎 徹 (独)産業技術総合研究所)
13:55 ~ 14:10	休憩	
14:10 ~ 15:20	実施項目2：海洋資源調査技術の開発	
	AUV 複数運用手法等の研究開発	吉田 弘 (独)海洋研究開発機構) 田村 兼吉 (独)海上技術安全研究所)
	ROV による高効率海中作業 システムの開発	大澤 弘敬 (独)海洋研究開発機構) 吉江 宗生 (独)港湾空港技術研究所)

	海洋資源調査システム・運用手法の開発	久保田 隆二 ((一社)海洋調査協会) 浅川 栄一 ((株)地球科学総合研究所)
	衛星を活用した高速通信技術の開発	豊嶋 守生 ((独) 情報通信研究機構)
15:20 ~ 15:50	実施項目3：生態系の実態調査と長期監視技術の開発	
	海洋生態系観測と変動予測手法の開発	山本 啓之 ((独)海洋研究開発機構) 河地 正伸 ((独) 国立環境研究所)
	ケーブル式観測システムの開発	川口 勝義 ((独)海洋研究開発機構)
15:50 ~ 16:05	休憩	
16:05 ~ 17:05	<p>パネルディスカッション テーマ：海底資源調査の「現状」・「課題」・「期待」 【モデレーター】 浦 環 (次世代海洋資源調査技術プログラムディレクター代理)</p> <p>【パネリスト】 朝日 弘 (住友金属鉱山(株) 執行役員) 河合 展夫 (次世代海洋資源調査技術研究組合 (J-MARES) 理事長) 岸本 幸雄 (日本エヌ・ユー・エス(株) 代表取締役社長) 辻本 崇史 (次世代海洋資源調査技術サブプログラムディレクター) 堀田 平 (次世代海洋資源調査技術サブプログラムディレクター) 山野 澄雄 ((株) フグロジャパン 代表取締役社長)</p> <p>【コメンテーター】 浦辺 徹郎 (次世代海洋資源調査技術プログラムディレクター)</p>	
17:05 ~ 17:15	閉会挨拶	堀田 平 ((独)海洋研究開発機構)
終了後、情報交換会を実施		

6. 当日の様子



図 1. 久間議員によるご挨拶



図 2. 山岸審議官によるご講演



図 3. 講演の様子



図 4. パネルディスカッション



図 5. 会場内の様子



図 6. ポスター・岩石サンプルの展示